



sakushin ism



Sakushin Gakuin Elementary School

作新学院小学部

学院長 船田 元

〒320-8525 栃木県宇都宮市一の沢1丁目1-41

☎028(647)4576

FAX028(648)1823 <https://www.sakushin.ac.jp>



交通案内

◆JR宇都宮駅利用 西口バスターミナル⑥・⑦乗場から
関東バス「作新学院駒生」行乗車

◆東武宇都宮駅利用 東武宇都宮駅前バス乗場から
関東バス「作新学院駒生」行乗車

※いずれも「作新学院前」下車



SAKUSHIN GAKUIN
ELEMENTARY SCHOOL



作新学院小学部

2022

学校案内／募集要項

学風

「作新民。」その「人間力」で、世界を変える、未来をつくる。



👉 通常は、感染防止のためマスクを着用していますが、撮影のときだけマスクをはずしています。

知 育 ———— 少人数教育によるきめ細かい指導。

教育の基本は「教え込む」ことではなく、その子どもに備わっている能力と可能性を最大限に「引き出す」ように導くことです。そして、子どもが自発的に学べる環境を整えることです。作新学院小学部では、各教科の授業において、子どもたちの学習に対する興味や関心を高める様々な取り組みを通して、学習への意欲を引き出し、学力を確実に伸ばすことに力を注いでいます。また、少人数クラス編成でのきめ細やかな指導とチーム・ティーチングにより、授業に自然と集中できる環境を作り出しています。

徳 育 ———— 感謝と思いやりの心を育む。

作新学院小学部の道德教育は、キリスト教の愛の精神を基盤とし、成長に合わせてゆっくりと子どもを見守りながら「思いやり」の心を育み、愛情豊かに育てようとする教育です。学校での生活は、朝の祈りに始まり、帰りの祈りに終わります。また、月に二回の牧師による聖話では聖書から隣人愛について学び、他人を理解し、よい人間関係をつくることのできる子どもの育成に力を入れています。また、学校は子どもの社会性を養うところでもあります。規律や礼儀、言葉づかいなど日常のしつけ教育も徹底して行っています。

体 育 ———— 体力と意志力の育成。

通常の授業の他に私立学校の特色を活かした多彩なスポーツ系年間行事を用意。体力だけでなく持久力や忍耐力などをそなえた強くたくましい子どもを育てます。また、男子は5・6年生になると必修クラブとしてラグビーの授業があります。仲間とともに取り組むことで楽しんで体を動かし、粘り強くやり通す精神や思いやりの気持ちを養うとともに、ルールを重視し楽しく仲良く運動ができるようにしています。



「確かな知力」「豊かな心」「やりぬく強さ」

〈リトルジェントルマン〉 〈リトルレディ〉
小さな紳士・小さな淑女を育てる



学院長
船田 元



理事長
船田 恵

作新学院小学部は県内でただ一つの私立小学校です。小学部では私立の特色を生かし、児童一人ひとりが個性を十分に伸ばせるよう、教職員は細かい点にまで気を配りながら指導しています。特に学院の校風である人を思いやる優しさや、心の豊かさをもった人となるように、知育・徳育・体育のバランスのとれた教育を心がけ、それを実践しています。

創立者 船田 兵 吾 (1868～1924)

幼い時から学問が好きで、6歳の頃にはすでに『論語』を読みこなしたことから、「神童」と呼ばれる。また、田中正造とも親しく、彼から「日本における教育者の代表」と言わせるほどの人物であったという。作新学院の教育施設の整備に努め、学校発展の基礎をつくるために奔走し、1924年(大正13年)57歳で「教育」に捧げた一生を終える。



小学部
初代部長 船田小 常 (1903～1973)

小学部創設に尽力。キリスト教の愛の精神を道德教育の基盤に据え、自ら、聖書の教えを子どもたちに説いた。また、将来の国際化社会に備え、創立当初より英語教育に力を入れた。更に、一流人の育成を目指し、日常の立ち居振る舞いや挨拶等の躾にも厳しかった。

こうした初代部長・船田小常の教育理念は、「小さな紳士・小さな淑女の育成」という小学部の教育目標として、今日まで受け継がれている。



沿革

昭和29年	作新学院小学部創設 外国人教師による英語学習を開始	昭和38年	委託給食開始	平成14年	1学級25名基準、学年3学級編成を実施
昭和34年	制服制定	昭和41年	新校舎落成	平成17年	小学部校舎の拡充
昭和35年	必修クラブラグビー部設置	昭和57年	小・中等部体育館落成	平成21年	小・中等部食堂棟落成
昭和37年	必修クラブ茶道部設置	平成 3年	多目的校舎新設	平成23年	新入生より新制服となる
		平成 8年	TBSこども音楽コンクール最優秀賞(金管クラブ)	平成26年	小学部創立60周年

開設当初からグローバル化を見据えた英語教育。

コミュニケーションを重視した内容で、生きた英語を楽しく学びます。

国際的な感覚と感性を身につけます。

作新学院小学部の英語教育は、開設当初より来たるグローバル化を見据え、ネイティブの英語教師をいち早く導入。子どもたちが楽しく自然と英語力が身につけられる授業を展開してきました。英語力を身につけることは、意欲と環境が整いさえすれば何歳からでも可能です。しかし、発音や習得の効率性を考えた場合幼少期から学習を開始することが望ましいと考えられます。

現在、小学部では2人のネイティブの英語教師を擁し、生きた英語を習得できる学習環境を用意しています。私立学校ならではの質の高い教育が期待できます。

また、2020年度から英語が5・6年生で教科になり、今後、より確かな英語の力が求められることを考え、Reading・Writingの力も、学年に応じて身につけることができるようなプログラムを導入しています。



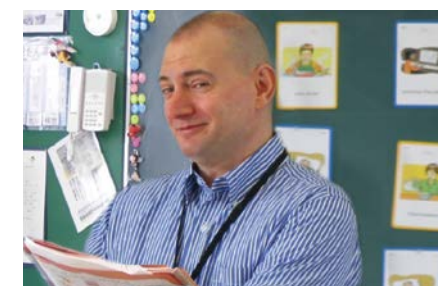
1年生から6年生まで、毎週2～4回、英語に親しんでいます。



歌やゲームを通して、ListeningとSpeakingを中心に「英語は楽しい」という子どもの心を大切にしています。



「英語が好き」と思えるように、自然な形で英語が身につくことを目指します。



ネイティブの先生とのコミュニケーションを通して生きた英語の活用に重点を置いています。

異文化体験教室

五感を通して、英語と英国の文化に触れます。

5年生は夏休みの7月下旬に、ブリティッシュヒルズで1泊2日の体験学習を行います。ここでのさまざまなカルチャーレッスンやマナー教室はすべて英語。生きた英語に触れながらの活動は、子どもたちにとって貴重な経験となることでしょう。



英語でチェックイン。ドキドキしたけど、通じてうれしい!!



砂や貝殻を使ってキャンドル作り。



イングランド起源の「クリケット」を体験。



マナーを学びながら美味しく楽しくお食事。



スコーンの作り方を教えてもらいました。



一人ひとりを大切に。

少人数クラス編成とチーム・ティーチングで
行き届いた指導を実現します。



小学部長
八島 慎宏

学ぶ姿勢を低学年からきめ細やかに指導。

作新学院小学部では、学校生活の中心となる学習に対する基本的な態度や学ぶ力を、低学年の段階からきめ細やかに指導。一人ひとりがよく学び、自主・自立・友愛の精神を尊重しながら、楽しい学校生活を送れるような環境づくりに努めています。



自ら学び、考え、解決していく力を育みます。

作新学院小学部では私立学校ならではの独自の教育プログラムで特色ある授業を展開し、子どもたちが自然と授業に集中できるようリズムを作り出しています。また、少人数クラス編成とチーム・ティーチングにより、個に応じたきめ細やかな指導を実現し、子どもたちの学力向上に高い成果をもたらしています。さらに、ほとんどの児童が本学院中部へ進学するという環境から、クラス全体に連帯感と緊張感が生まれ、子どもたちの自主性と学習意欲の高揚に相乗効果が得られています。



震災学習・被災地支援

東日本大震災から10年

続けてきた被災地の小学校との交流



小学部では東日本大震災以来、気仙沼小学校に毎年手作りのカレンダーを贈りつづけるなど被災地支援に取り組んできました。昨年は修学旅行で現地を訪れて、直接交流することができました。



贈り続けてきた
手作りカレンダーの1枚。



自分たちが贈ったカレンダーが
大切に飾られているのを見て、
あらためて交流の大切さを実感しました。



今年の3月には、気仙沼小の6年生とオンラインでの
交流も実現できました。
これは、小学部についてのクイズを出している場面。

必修クラブ



ラグビー

5・6年生の男子にはラグビーの授業があります。作新学院高等学校の体育教諭(ラグビー部)による技術指導を受けています。



ラグビー(男子)



茶道(女子)



茶道

5・6年生の女子は茶道家元のご指導で茶道を学んでいます。茶道を通し、日本の伝統文化に触れ、正しい礼儀作法を身につけます。

朝のお祈りに始まる、楽しく充実した毎日。

キリスト教の愛の精神を基盤とした情操教育を行っています。

毎週水曜日に朝の運動があります。



6年生は週番の仕事として、朝早く掃除活動を行っています。

登校

徒歩・バス・自家用車などで8時15分までに登校します。登校時は正門・アカデミアゲートのどちらからでも入れます。



1 時限目

子どもたちの生き生きとした表情が密度の濃い授業を物語っています。

一日の流れ



下校

下校時も、児童の安全確保につとめています。



6 時限目

高学年の社会科では、新聞記事を題材として、互いに意見交換しながら社会的な課題に向き合うディベート授業を行っています。



2 時限目

歌やゲームを楽しみながら、生きた英語を身につけます。



3 時限目

音楽では、合唱や器楽合奏などを通して、豊かな情操を育みます。



4 時限目

先生のお話をよく聞いて、わからないことは質問し、疑問は今日のうちに解決します。



給食

ランチタイムはみんなで楽しく、残さずきれいにいただきます。



5 時限目

理科の観察や実験は新しい発見がいっぱい。児童の目が輝きます。



一校一家の精神

小学部では上級生が下級生をサポートすることが日常となっています。下級生を思いやる心を育てるとともに、上級生への感謝の気持ちと目上の人を敬う一校一家の精神が、脈々と受け継がれています。



上級生が正門で1年生を出迎え教室まで付き添います。



わからないことが多い1年生に6年生が優しくサポートします。



朝の時間に6年生が1年生に紙芝居を読んであげたりしています。

zoomでの朝の会

昨年の休校中には、zoomでの朝の会を行いました。保護者の皆様のご協力の下、多くの子どもたちと顔を合わせ、短い時間ですが言葉を交わすことができました。



じゃんけんゲームをクラスみんなで楽しみました。



zoomを通して、誕生日の児童をみんなでお祝い!!

学校行事を通して、社会性と協調性を養います。

子どもたちがめりはりのある学校生活を送ることができるように、1年を通して多彩な学校行事を用意してあります。一つの行事に子どもたちが主体的に関わっていく過程では、教科の学習とは違う活動の中から互いの能力を認め合い、よりよいものを創り出す喜びを感じることができます。また、学校行事と総合の時間を関連づけたプログラムを実践し、その内容をより充実したものにしています。

- | | | | | | | | | | | | |
|-----|--------------------------|-------------------------|---------|---------|-----|--------------|-----|-------------|-----------------|-----|---|
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
| 入学式 | 春の遠足
親子給食会
幼小連携田植え | 修学旅行
親子のつどい
花の日訪問 | 異文化体験教室 | チャレンジ講座 | 運動会 | 秋の遠足
林間学校 | 感謝祭 | クリスマス礼拝・音楽会 | スキー教室
スケート教室 | 卒業式 | |

入学式



作新学院小学部での素晴らしい日々の始まりです。少し緊張しながらも希望に瞳を輝かせています。

春の遠足



新緑の豊かな自然の中で動植物と親しみながらクラスの仲間との友情を深めます。

幼小連携田植え



年長園児ともち米の苗を一本一本丁寧に植えます。10月末に刈り取り、12月には餅つきをして食べます。

花の日訪問



日頃お世話になっている公共機関や施設に感謝の気持ちとともにお花を届けます。

チャレンジ講座



夏休み、各教員の得意分野を生かして約20の講座が開かれます。この講座ではスライム作りをしています。



金管クラブの演奏に合わせて入場行進。割れんばかりの歓声の中で溢れる笑顔とほとばしる汗。仲間と一丸になって勝利を目指します。

林間学校

3年生は塩原で、4年生が那須で1泊2日の林間学校を実施。寝食を共にして友情深めます。



感謝祭



アメリカの宗教行事の一つですが、小学部では毎年野菜や果物を持ち寄り老人ホームなどへ届けています。



長距離走大会



10月から11月にかけて子どもたちは毎日練習します。大会では完走する達成感と喜びを味わいます。大会後は、役員のみな様が作ってくださるおしるごとお雑煮を美味しくいただきます。

秋の遠足

秋の遠足は、さつまいも掘りやりんご狩りなど、実りの秋ならではの体験も。



幼小連携稲刈り

立派に育ったもち米を年長園児と一緒に稲刈りします。



クリスマス礼拝・音楽会



クリスマス礼拝のあとに音楽会を実施します。各学年ごとに発表する歌や合奏は、非常にレベルの高いものです。



スケート教室



3・4年生を対象に実施。1時間ほどの練習で、3年生も上手に滑れるようになります。

スキー教室



5・6年生を対象に実施。現地インストラクターの指導で、初めての児童も2日目には滑れるように。

企業で働く人たちを研修でサポートする 人材育成の仕事で活躍中！

元担任の遠藤教頭と久しぶりに再会し、今の仕事と小学部での思い出を語ってくれました。



スタッフと打合せ中の大山さん



アカデミア・ステージにて遠藤教頭と大山さん

大山 紘子 さん (株) メック・ヒューマンリソース

東京女子大学 ◀ 宇都宮女子高等学校 ◀ 作新学院中部部 ◀ 小学部(1990年卒)

(遠藤) 今は、具体的にどんなお仕事を？

大山さん 企業で働いている社員に、どんな知識やスキルを身につけてもらおうと自分の持っている力を発揮して働けるようになるのかを考えて、研修などを担当する仕事です。

(遠藤) 今のお仕事に喜びを感じる時は？

大山さん 研修を受けた人から「ためになった」と言ってもらえたり、「ちょっと元気になった」という話を聞いたり、その後、実際にその人たちがお仕事で活躍していたりすると、自分のやったことが少しは役に立ったかなと思って、達成感があります。

(遠藤) 今のお仕事につながるきっかけは？

大山さん 大学で勉強したことが、今の仕事につながっています。社会学を勉強して、「社会」とか「家族」とか「働くこと」とか普段何気なく受け入れていることが日本でどうやってできあがってきたのか、今どんな問題があるのか、今後どうなるとよさそうかを学び考えていました。



小学部での授業で「なんでだろう？」とか「本当にそうかな？」と考える練習をしたことや、聖話や英語の授業を通してキリスト教や海外の文化に触れる機会が多かったことも今につながっています。

(遠藤) 小学部にいたころの思い出は？

大山さん 授業も部活も、6年間の間の多彩な行事も今の私の生活につながっています。理科の授業でたくさんの実験をやったことや、分子模型を作ったことはとても楽しい思い出です。

ちなみに、今回1年生からの出来事や思い出を試しに書き出してみたら400字原稿用紙8枚分くらいになりました。

(遠藤) 小学部の子どもたちに伝えたいことは？

大山さん 授業で習うことはもちろん、学校の行事や部活、友だちと遊ぶこと…いろいろなことの中に大切なヒントが隠れていると思います。その中から、もっと知りたいこと、やってみたいことが見つかるかもしれないし、将来なりたいものが見えてくるかもしれません。小学部で体験できることを、まずは心から楽しんでもらいたいと思います。



ダイニング・ラボにて



卒業アルバムより



フランクフルトの勤務先での長谷川さん

長谷川 諒 さん みずほ銀行 (産業調査部・ドイツ駐在)

東京大学 ◀ 宇都宮高等学校 ◀ 作新学院中部部 ◀ 小学部(1999年卒)

(八島) 今、具体的にどんなお仕事を？

長谷川さん メガバンクの一つであるみずほ銀行の産業調査部という部署に所属し、ドイツ・フランクフルトで海外駐在員として欧州の自動車や化学業界に関する調査分析 (EV化の進展等) や調査結果を踏まえたお客様の戦略立案へのサポートを行なっています。

(八島) 今のお仕事に喜びを感じる時は？

長谷川さん 担当業界の調査を通じて、「新たなこと」が発見できた時、お客様に自らの提案内容について感謝してもらった時、外国人も含めたチームで一体感を持って仕事をするのができた時などに、達成感や喜びを感じます。小学部時代に学んだ、「学ぶこと」の楽しさやクラスメイトと「何かを実現する」ということが原体験だと思います。

(八島) 今のお仕事につながるきっかけは？

長谷川さん 漠然と「社会に貢献できる仕事がしたい」ということを思う中で、大学で金融のゼミに所属していたこともあり、現在の会社に新卒で就職することになりました。

(八島) これからの夢や目標を教えてください。

長谷川さん 日本の経済活性化・発展をミッションに負う日本の金融機関の一員として、日本経済・社会により一層貢献できる人間となることが目標です。

ドイツ・フランクフルトで みずほ銀行の海外駐在員 として活躍中！

現在もドイツで活躍中の長谷川さんに
元担任の八島部長がオンラインにてお話を伺いました。



インタビューする八島部長と長谷川さんのzoom画面



卒業アルバムより

(八島) 小学部にいたころの思い出は？

長谷川さん 八島部長をはじめとした先生方の深い理解もあり、卒業制作で中庭に「小川」を作らせていただいたことが一番の思い出です。懐の大きな先生たちの元で、子どもの「荒唐無稽」に見える夢を叶えてもらえる環境をいただけたことに感謝しています。

(八島) 小学部の子どもたちに伝えたいことは？

長谷川さん 少人数のクラスで、多彩な行事や授業というかけがえのない経験を共にした同級生たちは、今も共に刺激し、助け合えるかけがえのない財産になっています。是非、毎日の授業や行事を、大切なクラスメイトとともに楽しみながら臨んでいただければと思います。



卒業アルバム掲載遠足スナップでの長谷川さん (前列一番右)

2022年度 募集要項

※新型コロナウイルスの感染状況により変更が生じる場合には、小学部HPでお知らせいたします。

入学試験	第 1 回	第 2 回
募集人員	男女あわせて約 75 名(1 クラス 25 名程度の 3 クラス編成) ※第 1 回入試が予定通り実施できた場合、第 2 回入試での募集人数は若干名です。	
出願手続	本学院所定の入学願書にて本学院事務局へ提出(駐車場は、正門前講師用駐車場) (願書配布は、8 月末頃から事務局または小学部職員室にて)	
出願期間	2021 年 11 月 1 日(月)・2 日(火)・4 日(木) 受付時間 10:00~16:00	2022 年 1 月 11 日(火)・12 日(水) 受付時間 10:00~16:00
選考日時	2021 年 11 月 23 日(火・祝) 申込順に下記の時間を指定します 9:30/10:30/13:30/14:30	2022 年 1 月 15 日(土) 申込順に下記の時間を指定します 9:30/10:30
入学選考	心身両面の発達を調査し、本校教育に適する者を選びます。 合わせて保護者の面接も行います。	
選 考 料	1 万円	
合格通知	2021 年 11 月 25 日(木) ※郵送による通知	2022 年 1 月 15 日(土) ※郵送による通知
入学手続	合格者は2021年12月1日(水)までに 入学金8万円を所定の銀行へ振込んで ください。(入学金は返金いたしません)	合格者は2022年1月19日(水)までに 入学金8万円を所定の銀行へ振込んで ください。(入学金は返金いたしません)
そ の 他	・一日入学は2022年1月22日(土)。 ・教育委員会への手続きは、本学院で行います。 ・就学時健康診断は、指定された小学校で受けてください。 ・学区制限はありません。 ・卒業後の進路選択は自由です。 ・本学院中等部への進学は、入学試験を受け、その結果により認められます。	

入学諸経費

○諸納付金…170,980円 ※2021年7月 現在

■施設費 100,000円(入学時・2年より年間 20,000円) ■4月分授業料・教育充実費・実習費 35,600円
 ■学級経費 13,000円(半年分) ■保護者会経費 12,000円
 ■給食費 6,900円 ■その他の経費 3,480円

○購買用品…男子/約 68,600円・女子/約 71,600円

■制服一式 ◆男子 約 25,000円 ◆女子 約 28,000円
 ■体育着一式 男女共通 約 6,600円
 ■学用品・スモック・ランドセル(学院指定のもの) 男女共通 約 37,000円

○毎月の経費…45,500円

■授業料・教育充実費・実習費 35,600円 ■給食費 6,900円
 ■行事積立金 3,000円 ※4・5月は、学級経費 13,000円が含まれます。

※児童募集に関する個人情報の取り扱いについて/願書などに記載いただいた個人情報は、入学選考実施のための事務手続き、及び合否等の連絡、合格後における入学手続等の事務手続及びその連絡のために使用いたします。

学校説明会・公開授業参観

2021 年
10 月 21 日(木)

聴蛙館

小学部に入学を希望する園児の
保護者の方々のご来校をお待ちしています。
駐車場は西駐車場です。

学校説明会

場 所/聴蛙館 3階
受 付/ 9:30~10:00
開催時間/10:00~10:40

公開授業参観

場 所/小学部各教室
授業時間/10:50~11:35

学童保育パレットのご案内



小学部では、第二校舎の一室に学童保育の部屋があります。
利用できるのは、小学部に在籍の1年生から3年生までの
児童で入会条件にあてはまる児童です。

- ◆定員/各学年10名まで
- ◆平日/下校時 ~18時(延長19時まで)

小学部体験教室

小学部に入学を希望する園児・保護者の方々を対象に
小学部教室にて「体験教室」を年2回開催しています。



安全対策

登下校時の 安全確保についての 小学部での対策

- 下校の際には、毎日バス停
の方面ごとに教員が児童を
引率しています。
- 通学範囲の広さを考慮し、
安全確保のため、学校指定
の子ども用携帯電話に限り
条件を付して所持を許可し
ています。

作新学院

Eメール送信

休校や災害時の緊急連絡・
不審者情報などの連絡



作新学院
一の沢キャンパス

「作新アカデミア・ラボ」
地球の未来を創造する
「知と生命の実験場」



募集
要項

小さな紳士・淑女を育てる

作新学院小学部